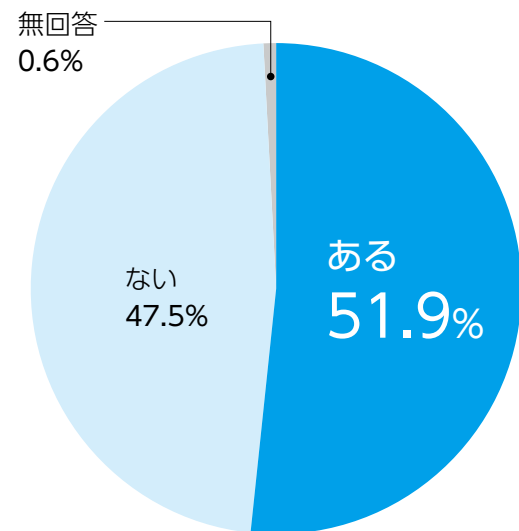
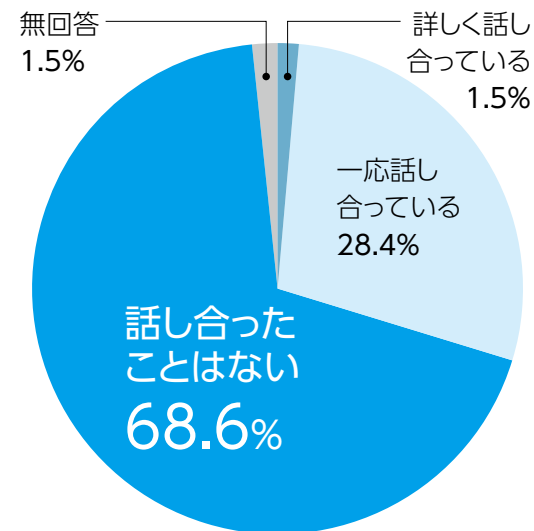


人生会議って、特別なことではありません

もしものとき、どのような医療やケアを受けたいか、考えたことはありますか？



もしものとき、どのような医療やケアを受けたいか、家族や大切な人などと話し合っていますか？



出典▶厚生労働省 自分らしく生きるための「人生会議」ポータルサイト

こんな誤解、ありませんか？

元気だから
まだ考えなくて
いい

今だからこそ
考えられます！

高齢になってから
考えるもの

年齢に関係なく
始められます！

病気になった人
だけのもの

誰にでも
関係があります！

もしものときに、自分の思いを言葉にできるとは限りません。だからこそ、元気なうちから思いを共有しておくことが、あなたと大切な人たちの支えになります。
人生会議に「正解」はありません。まずは、身近な人と話すことから始めてみませんか。

もしものとき、
あなたは
どうしたい？

特集
大切なことを、
大切な人と。
－ 人生会議(ACP)
はじめよう－

図 いきいき長寿課 ⑨ 2124

11月30日、いい看取り・看取られ(1130)は「人生会議の日」

年齢に関係なく、誰にでも突然命に関わる病気やけがをする可能性があります。
もし、自分で医療やケアについて決めたり、思いを伝えたりできなくなったら…。
そのとき、あなたの「こうしたい」を、誰かが知っているでしょうか。
元気な今だからこそ、自分が大切にしていることや望む医療・ケアについて考え、信頼する人と話しておくこと。それが「人生会議」の第一歩です。

人生会議って、なに？ ACP: アドバンス・ケア・プランニング

「これから」をより自分らしく大切に過ごすために話し合うことです。
もしものときにどのような医療やケアを受けたいかをあらかじめ考え、家族や大切な人、医療・介護関係者と繰り返し話し合い、共有することが大切です。



人生会議を知っていましたか？

